

「小川内」便り 第42号 平成28年7月

特定非営利活動法人 小川内プロジェクト（理事長 安福孝昭）

連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小川内4579-3

安佐小川内集会所

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>



暑中お見舞い申し上げます。今が一番暑い時期、どうぞご自愛下さい。

原爆投下から71年目の今年、南シナ海問題や北朝鮮の相次ぐミサイル実験等、世界情勢が緊迫する中、オバマアメリカ大統領が初めて広島原爆慰霊碑に参拝、というビッグニュースがありました。これを機に核廃絶が実現、安心して住める平和な社会を祈ります。

目次

第5期（平成27年度）通常総会	・ ・ ・ ・ ・ P1
第6期平成28年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・ P2～2
第3回田舎暮らし体験塾	・ ・ ・ ・ ・ P3
小川内情報	・ ・ ・ ・ ・ P4
・ 小川内寿永会追悼法要 7月31日	・ ・ ・ ・ ・ P4
・ 小川内夏祭り 8月13日	・ ・ ・ ・ ・ P4
・ 敬老会	・ ・ ・ ・ ・ P4
・ 空き家バンク設立準備委員会	・ ・ ・ ・ ・ P4
編集後記	・ ・ ・ ・ ・ P4

第5期（平成27年度）通常総会

第5期（平成27年度）通常総会が6月12日（日）小川内集会所で行われ、鈴木副理事長を議長に指名、議案を審議、原案通り可決した。

役員人事で佐々木英孝理事が一身上の都合で辞任、生田忠男氏（寿永会長）、小田博士氏（寿永会）が新たに理事に就任した。理事15名、幹事2名となった。

正会員数80名中、出席者19名、委任状提出者38名であった。



総会で挨拶する安福理事長



総会風景

平成28年度事業計画

特定非営利活動に係る事業

(金額：千円)

事業名	具体的事業	計画日
① 農地保全等支援事業	事務等	随時
② 中山間地等直接支払制度支援事業	中山間地等直接支払制度を利用し約50 ^{ヘクタール} の農地の農業生産活動の継続、維持を推進。	随時
③ Iターン・Uターン促進事業	(1) 田舎暮らし体験塾(塾生28名) ①開講式、種まき ② 野菜植え ③ 収穫体験 ④ 稲刈り ⑤ 柿もぎ、交流会 ※大根掘り、干す ⑥ 漬物づくり ⑦ 門松、しめ縄づくり ⑧ みそづくり ⑨ ワークショップ ⑩ ワークショップ、閉講式	5月14日 6月4日 7月16日 9月17日 10月22日 11月中旬 12月3日 12月17日 1月21日 2月18日 3月4日
④ 都市・地域住民との交流事業	(1) 白島商店会酒米づくり ・田植え ・草取り ・稲刈り (2) 白島小学校農業体験 ・田植え ・稲刈り (3) 小河内夏祭り	5月29日 7月24日 9月25日 5月23日 月 日 8月13日
⑤ 情報発信事業	(1) ホームページ フェイスブック (2) 小河内便り	随時更新 6回(2月に1回)発行
⑥ 地域農林水産物の加工販売事業	(1) 農産物加工販売 ・白島碇神社夏祭り ・農産物市(野活) ・安佐公民館ふれあい祭り (2) 炭焼き事業 ・弥太郎君	7月23日 10月9日 10月8日～9日 随時
⑦ その他、法人の目的	(1) 総務関係	

を達成するために必要な事業	・定款、助成金申請、表彰申請、渉外 (2) 事務局 ・会員管理、会議、予算管理、月次決算 - 商品、物品管理 (3) 監事 ・業務執行状況、会計、財産状況監査	都度
---------------	--	----

※ 第2期 田舎暮らし体験塾生 28人

第3回田舎暮らし体験塾（7月16日・土）

今回は、午前は農園の草刈、BBQ用の枝マメ収穫、とうもろこしの防鳥ネット張りなどの農業体験。午後は全員で活動拠点（空き家）の改修状況を見学、その後、各分科会に分かれて行動、夕方からBBQで交流会を行った。

枝マメもとうもろこしも収穫までにもう少し、という段階までに成長していたが、とうもろこしはカラスやヌートリアが先に失敬、あちこちに残骸が散乱していた。

交流会には塾生14人、地元スタッフ20人が参加、地元で捕れた猪肉や野菜にビールに話が咲いた。猪肉が美味しかったと好評であった反面、もっと地元のスタッフと話したい、との意見もあった。



ヌートリアの被害、とうもろこしの残骸



防鳥ネット張り



塾生、スタッフの交流会に話が弾む



猪肉と地元野菜でBBQ（弥太郎近で火起こし）

小河内情報

・小河内寿永会追悼法要（小河内寿永会主催）

この1年間（平成27年7月1日～28年6月30日）に亡くなった会員10名の追悼法要が7月31日（日）安楽寺で行われる。最高齢者であった佐々木武男氏は102歳で亡くなられた。

・小河内夏祭り（小河内コミュニティ推進協議会主催）

小河内どんどん夏祭りが8月13日（土）18：30より旧小河内小学校で行われる。ビール・ラムネ早飲み大会や盆踊り、お楽しみ抽選会、花火大会などで夏の楽しい一時をお過ごししましょう。又、小河内小学校同窓会開催も呼びかけている。各学年、クラスごとに行う。

・敬老会（小河内自治会連合会、社協共催）

9月18日（日）旧小河内小学校体育館で行われる。
今年の対象者（75歳以上）は162名である。（昨年は164名）

・空き家バンク設立準備委員会

都市住民の田舎志向や価値観の多様化等から当地区の空き家の問い合わせが増えている。一方、高齢化等で空き家は増加、小河内の活性化のためにはこうした空き家を資源として活用、人口を増すことは不可欠であることから、自治会、NPO法人小河内Oプロジェクトは空き家バンク設立準備委員会を発足、この問題に取り組むことになった。
各自治会長の協力を得て8月中に外観調査を行い、年年度内には空き家バンクを設立、空き家情報をホームページにアップ、マッチングサービスを行うことが話し合われている。

編集後記

この時期、又“農産物をやられた”、という声をよく耳にし、我が家も度々遭遇しているので納得する。先日畑をみたら、野良生えで大きくなっていた「そうめん瓜」が4個なくなっていた。これは、硬く美味しくないのだろうか、今まで被害にあったことはなかったので無防備であった。足跡から見て猿ではなさそう、カラスはこんな重いもの（恐らく1個1kgや2kgはあるだろう）は運べない、そこで食べた形跡がない（種も皮もない）、では4本足の動物がどうしてどこかに運んだのか？ と謎が深まる。この謎は私の不勉強からか、彼らが生きるために新しい知恵を編み出したのか、わからない。農業は未知のとの遭遇、変に納得した。(S)